

# 日経平均予測 AI の衝撃

～AIを活用して2024年6月、9月、12月末の株価を予測してみた～

ライフデザイン研究部 主席研究員/テクノロジーリサーチャー 柏村 祐

## 1.注目を集めるAIを用いた株価予測

日経平均株価は、東京証券取引所プライム市場に上場する代表的な225銘柄の株価の平均値である。日本の株式市場の動向を示す代表的な指標であり、日本経済の状況や企業業績、国際情勢など、様々な要因で変動する。

近年の上昇トレンドについては、投資家の間でも意見が分かれている。日本経済の回復や企業業績の改善を背景に、さらなる株価上昇を期待する投資家がいる一方で、株価の上昇スピードに対する警戒感やグローバル経済の不確実性から、今後の調整局面を懸念する声もある。

そのようななか、人工知能（AI）を用いた株価予測手法が注目を集めている。AIによる株価予測は、従来の手法と比べてどの程度の精度が期待できるのか、また、その予測の仕組みはどのようなものなのか、多くの投資家が関心を寄せている。本稿では、日経平均株価の予測におけるAI活用の現状と可能性について述べる。

## 2.株価予測AIの実態

以下では、日経平均株価の予測にAIを活用する仕組みについて詳しくみていく。

AIを活用した株価予測は、「過去の価格データの分析」と「楽観シナリオ、悲観シナリオにもとづく株価予測」の2つの工程に大別される。

まず、「過去の価格データの分析」工程で、日経平均株価の過去5年分のデータをAIに読み込ませ「添付の日経平均株価を分析してください」と指示したところ、AIは2019年4月から2024年4月までの日経平均株価の日次データを解析し、全体的なトレンド、変動性、季節性・周期性、重要イベントの影響、ボラティリティの変化、高値圏での推移という6つの特徴を洞察した（図表1）。

図表 1 AI が過去の日経平均株価を読みこみ洞察した結果



資料: Claude3 より筆者作成

次に、今後の楽観シナリオにもとづく日経平均株価を予測するため、はじめにAIを活用して楽観シナリオの作成を行った（図表2）。

図表2 AIが作成した2024年の楽観シナリオ

2024年度の世界の地政学、経済、政治動向に関する楽観シナリオは以下の通りです。

#### 地政学的動向

- **多極分散型への移行:** 国際社会が多極化し、新たなパワーバランスが形成されることで、地域ごとの安定性が向上<sup>4</sup>。
- **中東情勢の安定:** イスラエルとハマスの緊張が緩和し、中東地域での平和構築に向けた対話が進展<sup>1</sup>。
- **米中関係の改善:** 米中が対話を重ね、貿易や気候変動対策での協力を強化し、世界経済の安定に寄与<sup>2 15</sup>。

#### 経済動向

- **世界経済の成長:** IMFが予測するように、世界経済成長率が3.1%に上方修正され、ソフトランディングが実現<sup>15</sup>。
- **インフレの鈍化:** 主要国でインフレ率が目標範囲内に収まり、消費者の購買力が回復<sup>2 15</sup>。
- **技術革新による経済成長:** AIやデジタル技術の進展が新たな産業を生み出し、経済成長を牽引<sup>17 20</sup>。

#### 政治動向

- **国際協調の強化:** G20や国連などの国際機関を通じた協調が強化され、グローバルな課題への対応が加速<sup>19</sup>。
- **民主主義の強化:** 世界各国で民主的な選挙が実施され、政治の透明性と市民の参加が向上<sup>10</sup>。
- **持続可能な政策の推進:** 環境保護や社会的公正を重視した政策が各国で推進され、持続可能な開発が進む<sup>19</sup>。

この楽観シナリオは、国際的な協力と対話を通じて、地政学的な緊張が緩和され、経済成長が持続し、政治的な安定が達成されることを想定しています。

資料: perplexity より筆者作成

AIが作成した2024年度の世界の地政学、経済、政治動向に関する楽観シナリオを改めて読み込ませたうえで、「楽観シナリオに基づき2024年6月末、9月末、12月末の株価を予測してください」と指示したところ、AIは、地政学、経済、政治動向の楽観シナリオにもとづく前提条件として、世界経済が成長すること、米中関係が改善すること、技術革新が進むことの3点を挙げた。そのうえで、2024年6月末43,000円、2024年9月末44,500円、2024年12月末46,000円という予測を算出した（図表3）。

図表3 AIが楽観シナリオにもとづき株価を予測した結果

2024年の日経平均株価の予測を、地政学、経済、政治動向の楽観シナリオに基づいて行います。

前提条件:

1. 世界経済は3.1%の成長率を達成し、ソフトランディングが実現。
2. 米中関係が改善し、貿易や気候変動対策での協力が強化。
3. 技術革新がもたらす経済成長と、持続可能な政策の推進が株式市場を下支え。

これらを踏まえ、日経平均株価を以下の通り予測します。

**2024年6月末: 43,000円**

- 世界経済の成長とインフレの鈍化を受け、企業業績の改善が期待される。
- 米中関係の改善や中東情勢の安定化により、地政学リスクが後退。
- 技術革新への期待から、市場心理が改善し、日経平均は43,000円まで上昇。

**2024年9月末: 44,500円**

- 世界経済の成長持続と、日本企業の堅調な業績を背景に、日経平均は上昇基調を維持。
- AIやデジタル技術の進展が新たな産業を生み出し、経済成長を牽引。
- 持続可能な政策の推進により、ESG投資の拡大が株式市場を下支え。

**2024年12月末: 46,000円**

- 年末にかけて、海外投資家の買いが入りやすく、日本株式市場への資金流入が加速。
- 国際協調の強化や民主主義の進展により、グローバルな投資環境が改善。
- 世界経済の安定成長と企業業績の拡大を背景に、日経平均は2024年末に46,000円まで上昇。

ただし、この予測はあくまで楽観シナリオに基づくものであり、地政学リスクの再燃や経済の減速などのマイナス要因が顕在化した場合は、予測値を下回る可能性があることに留意が必要です。

資料: Claude3 より筆者作成

また、今後の悲観シナリオにもとづく日経平均株価予測を行うため、はじめにAIを活用して悲観シナリオの作成を行った（図表4）。

図表4 AIが作成した2024年の悲観シナリオ

2024年度の世界の地政学、経済、政治動向に関する悲観シナリオは以下の通りです。

#### 地政学的緊張の高まり

- 中東地域では、イスラエルとハマスの衝突がさらに激化し、紛争が地域全体に拡大する可能性がある。イエメンのフーシ派やレバノンのヒズボラなど、他の武装勢力が関与することで、紛争は国際的な次元を帯び、原油供給に深刻な影響を及ぼす可能性がある<sup>12</sup> <sup>12</sup>。
- 米中関係はさらに悪化し、台湾問題を中心に緊張が高まる。中国が台湾に対する圧力を強め、米国との間で軍事的な衝突のリスクが高まる<sup>13</sup>。

#### 経済の不透明性

- 世界経済は、地政学的リスクの高まりと供給網の混乱により、成長が鈍化する。特に、中東での紛争拡大が原油価格の急騰を引き起こし、インフレ率の上昇と経済成長の鈍化を招く<sup>12</sup> <sup>12</sup>。
- 中国経済の不動産セクターの低迷が深刻化し、世界経済への影響が懸念される。中国の経済成長の鈍化は、グローバルな供給網に影響を及ぼし、世界経済の成長を抑制する<sup>14</sup>。

#### 政治的不安定性

- 米国では、大統領選挙を控えた政治的分断が一層深まり、国内の政治システムの機能不全が顕著になる。トランプ前大統領の返り咲きが現実化すると、国際的な秩序がさらに不安定になる可能性がある<sup>11</sup> <sup>13</sup>。
- 欧州では、経済の低迷と政治的な極右勢力の台頭により、保護主義が強まり、EU内の結束が弱まる。これにより、国際協力の減少と地政学的なリスクの増大が懸念される<sup>13</sup>。

この悲観シナリオは、地政学的緊張の高まり、経済成長の鈍化、政治的不安定性が相互に影響し合い、世界的な危機を引き起こす可能性があることを示しています。

資料: perplexity より筆者作成

AIが作成した2024年度の世界の地政学、経済、政治動向に関する悲観シナリオを改めて読み込ませたうえで、「悲観シナリオに基づき2024年6月末、9月末、12月末の価格を予測してください」と指示したところ、AIは、地政学、経済、政治動向の悲観シナリオを要約した前提条件として、地政学的緊張が高まり中東での紛争が拡大すること、世界経済の成長が鈍化すること、政治的不安定性が増大することの3点を挙げた。その上で、2024年6月末32,000円、2024年9月末30,000円、2024年12月末28,000円という予測を算出した(図表5)。

図表 5 AIが悲観シナリオに基づき株価予測する様子

2024年の日経平均株価の予測を、地政学、経済、政治動向の悲観シナリオに基づいて行います。

前提条件:

1. 地政学的緊張が高まり、中東での紛争拡大や米中の軍事的衝突のリスクが増大。
2. 世界経済は成長が鈍化し、インフレ率の上昇と供給網の混乱が続く。
3. 政治的不安定性が増大し、保護主義の台頭や国際協力の減少が進む。

これらを踏まえ、日経平均株価を以下の通り予測します。

#### 2024年6月末: 32,000円

- 中東紛争の拡大により原油価格が急騰し、世界経済の成長が鈍化。
- 米中関係の悪化により地政学リスクが高まり、投資家心理が悪化。
- インフレ率の上昇と供給網の混乱により、企業業績の悪化が懸念され、日経平均は32,000円まで下落。

#### 2024年9月末: 30,000円

- 米国の政治的分断の深刻化と欧州の保護主義の台頭により、国際協力が減少。
- 中国経済の不動産セクターの低迷が世界経済に波及し、景気後退懸念が高まる。
- 地政学リスクの高まりと経済の不透明性により、投資家のリスク回避姿勢が強まり、日経平均は30,000円まで下落。

#### 2024年12月末: 28,000円

- 米中の軍事的衝突のリスクが現実化し、世界経済への影響が深刻化。
- 主要国の政治的リーダーシップの不在により、国際的な危機対応が遅れる。
- 世界的な景気後退と地政学リスクの高まりにより、投資家心理が冷え込み、日経平均は28,000円まで下落。

ただし、この予測はあくまで悲観シナリオに基づくものであり、実際の株価動向は、各国の政策対応や企業の適応力などによって変化する可能性があることに留意が必要です。

資料: Claude より筆者作成

以上のように、AIによる株価予測の大きなメリットは、知識や経験の浅い投資家でも、専門家が行うような分析にもとづく予測を得られ、より適切な投資判断を下すことができる可能性が高まる点にある。

また、株価予測にAIを活用することにより、投資家は過去のデータ分析だけでなく、地政学や政治、経済などの幅広い要因を考慮した株価予測が可能になる。特に、AIを活用した楽観・悲観シナリオにもとづく株価予測は、将来の不確実性を考慮した投資判断に役立つと考えられる。ただし、AIによる株価予測にはいくつかの限界が存在する。たとえば、AIは過去のデータや現在設定されているシナリオにもとづいて予

測するが、予期せぬ経済危機や政治的変動など、過去のデータに存在しない新しい事象が発生した場合、その予測精度は著しく低下する可能性がある。このような状況に柔軟に対応できるよう、AI 予測を補完する追加的な分析手法や、専門家の意見を参考にすることが重要である。

### 3. 株価AIの可能性

株価予測 AI は、過去の価格データ分析や、地政学、政治、経済などの幅広い要因を考慮した株価予測を可能にするツールである。特に、楽観・悲観シナリオにもとづく株価予測は、将来の不確実性を考慮した投資判断に役立つ。AI による分析は、人間の判断では見落としがちな情報を拾い上げ、より客観的で多角的な視点を提供することができる。

また、AI を活用することで、大量のデータを短時間で処理し、複雑な因果関係を発見することが可能になる。これは、従来手法では困難であった、リアルタイムでの市場分析や、高頻度取引への応用にも道を開くものである。

株価予測 AI は、単なる数値の予測を超え、投資家が様々な情報にもとづき判断を下すことを支援するツールとして、計り知れない可能性を秘めている。特に、複雑な市場環境と経済動向のなかで、AI は多様なデータを迅速に分析し、投資家にとって価値ある洞察を提供することができる。それを1つの情報源として利用し、人間の判断を重ね合わせるというアプローチにより、投資家は市場の不確実性に対してより強固な戦略を構築することができるようになるだろう。